

金属をサビから守るために「めっき」します



マイクロエース 株式会社

創業：1952年 従業員数：100人
宮崎市花ヶ島町京出 1411-1
TEL 0985-25-4696 / FAX 0985-25-4331
http://micro-ace.co.jp

Web版はこちら



こんな仕事をしています。

金属でできた部品や道具はサビができるとボロボロになり、使えなくなったり、汚くなったりします。私たちはこれらの部品や道具をいつもきれいな姿で使えるように「めっき」をしています。

「めっき」とは何でしょうか？ その歴史と一緒に紹介します！

「めっき」とは、金属の表面を特別な膜でおおう技術のことで、その役割は金属をサビから守り、美しく輝かせることなどです。めっきは今から約3,500年前（縄文時代の頃）に外国で発明され、日本でいちばん最初にめっきされたものは奈良の大仏様とされています。オリンピックの金メダルもめっきされたもので、ほかにも私たちの周りにはめっきされたものがたくさんあります。

乗る

自動車やバイク、自転車、船など人が乗るもの

遊ぶ

スマートホンやパソコン、ゲーム機など遊ぶもの

楽しむ

指輪やネックレス、宝石など体を飾って楽しむもの

食べる

スプーンやナイフ、お皿など食べるときに使うもの

飛ぶ

飛行機やロケット、人工衛星など飛ぶもの

見る

東京スカイツリーやドーム球場など出掛けて見るもの

めっきって私たちの生活には欠かせないものなんだね！

「めっき製品」が完成するまでの流れを見てみましょう！

① 汚れを落とす

たくさんの化学薬品を使って金属部品の汚れをよく洗って落とします。

② めっき膜をつくる

特別な薬品のなかに金属部品を入れ、電気の力を利用してめっき膜を作ります。その膜の厚さは、髪の毛の太さの十分の一という、とても薄い膜ですがとても硬くて強い膜です。

③ 品質検査

めっきした金属製品に問題がないか、顕微鏡などのいろいろな機械や道具を使って検査します。

④ 出荷

厳しい検査に合格した安全で安心な金属製品だけを、お客様のもとに届けます。

マイクロエースのスタッフからメッセージ♪

入社当初は製品をひとつひとつ丁寧にめっきする部署で基本を学び、現在は自動設備の操作を行いめっき処理をしています。製品がきれいに仕上がると、うれしさと同時に自分の成長を感じます。

製造部 照屋晴子さん

お客様や世の中が求めているものを開発して製品にするのが私の仕事です。開発中は試作やデータ解析を繰り返し行い大変ですが、お客様が満足する製品ができあがったときの達成感は何ともいえません。

研究開発本部 中村賢太郎さん

顕微鏡や分析装置を使って、製品がお客様の規格通り正しく作られているか検査するのが私の仕事です。すべての検査が合格になった瞬間、お客様の喜ぶ顔が見えてくることにやりがいを感じます。

品質管理課 山田由貴子さん

お客様が求めていることや困っていることを聞いて、私たちのめっき技術で解決する提案をしています。提案が採用されてお客様から喜びの言葉をいただいたとき、この仕事に誇りを持つ瞬間です。

営業企画部 高原弘樹さん

「めっき」をする会社にはいろいろな仕事をする人がいます

めっきする人

金属部品の大きさや形に合わせてめっきします。

分析する人

きれいなめっき膜ができるように、薬品が正常かどうか調べます。

検査する人

できあがっためっき膜が役に立つかどうか調べます。

企画する人

新商品や宣伝について、いろいろなアイデアを考え話し合います。

研究する人

新しい薬品を作ったり、新商品を開発したりします。

たくさんの人たちの協力でめっき製品はできあがるんだね！

マイクロエースが開発しためっき製品の一部を紹介します！

バイクフレーム部品
新たに開発しためっきが日本で初めて採用されました。

自動車部品
高級車の天井部品に日本で初めて採用されました。

電子部品
1ミリ以下のとても小さな部品のめっきに成功しました。

パソコン部品
日本で初めて天然色素を使った染色に成功しました。